

- ご使用になるお客様に必ずお渡しください。
- ご使用になるお客様は必ずお読みください。

(No.7)

象印・小型電気チェーンブロック

BE型 ファイバーホイスト

取扱説明書

- この度は、当社製品をお買い求めいただき誠にありがとうございます。
- 電気チェーンブロックをご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり十分理解した上で正しくご使用ください。
- 保守や点検の際にはこの取扱説明書が必要になりますので大切に保管してください。
- 分解、組立を伴う検査項目は、必ず最寄りの当社製品取り扱い店または当社営業所までご用命ください。



〒589-8502 大阪狭山市岩室2丁目180番地
TEL.(072)365-7771(代) FAX.(072)367-2053
URL : <https://www.elephant.co.jp>

本書取扱説明書以外は、象印α型小型電気チェーンブロック取扱説明書をご参照ください。
従来のワイヤーおよびチェーンに変わる繊維製の平ベルトを採用した電動巻上機です。
地球環境にやさしい騒音、振動、機械油の付着等を避けたい使用条件（食品関係、医療介護用品用、密集住宅地等）に最適です。

安全設計

- ①定格荷重の7倍の安全荷重を持つ強力繊維製の平ベルト
- ②過巻き上げ、過巻き下げ防止装置付（リミットスイッチ）
- ③過負荷防止装置付
- ④手元押しボタンは、三相で24Vの低電圧操作、単相は供給電圧と同じです。

取り扱いについて

⚠ 危険

- (1) 本体を横引きしたり、斜め引きをすると危険な状態になりますのでしないでください。
横引き操作を行いますとベルトがベルトガイドを正しく通過せず、巻き取りドラムに正しく整列した巻き取りができず、折れ曲がった状態で巻き取られます。また、巻き取り容量不足や、巻き下げ時ガイドをスムーズにベルトが通過しなくなったりして、非常に危険な状態になるばかりではなく、ベルトの寿命を著しく縮める事につながりますので横引き操作はしないでください。
- (2) 巻き上げ、横行、走行を同時に操作すると危険な状態になりますのでしないでください。
巻き上げ中、横行または、走行を同時に操作すると荷揺れが生じ、横引き操作した時と同じ様にベルトガイドに正しく通過せず折り曲げ現象が生じ非常に危険な状態になりますので、巻き上げ中、横行又は、走行の同時操作はしないでください。
- (3) 過巻き下げのリミットスイッチは絶対にさわらないでください。
ベルトの巻き取りドラムは、過巻き下げのリミットスイッチ作動時にベルトの余巻を3巻残る状態でリミットスイッチが作動する様に設定して出荷しておりますが、ベルトの余巻が3巻以下になるとベルト端末止め金具からベルトがはずれ、荷が落下し非常に危険な状態になりますのでさわらないでください。
- (4) 高温、火気近辺での使用はしないでください。
使用環境等でご不審な点は必ず当社にお問い合わせください。
- (5) 屋外での使用はしないでください。
ファイバーホイストは屋外仕様ではありません。屋内で使用される場合でも高温、湿気、高温蒸気等の環境での使用は避けてください。
- (6) 金属、ガラス等のシャープエッジになっている所にベルトが当たる様な使用法はしないでください。
鋭い金属コーナー等にベルトが当たる使用場所、使用法は、ベルトの切断につながり大変危険ですのでしないでください。

⚠ 警告

- (1) 過巻き上げおよび過巻き下げ防止装置は非常用ですので、日常点検以外は常に作動させる使用法はしないでください。
- (2) インチングおよび急反転（ブラッキング）操作はしないでください。
インチングおよび急反転操作は電装品の寿命を著しく早めるだけでなく、ベルトに大きな張力が掛かり、荷物が大きく振動し危険な状態になりますので絶対に行わないでください。

⚠ 注意

- (1) 過巻き下げのリミットスイッチは日常点検をしてください。
無負荷状態で過巻き下げを行いベルトの危険ラインが出ている場合は、過巻き下げリミットスイッチの点検および調整方法の項を参照して調整をしてください。
- (2) ベルト整列巻き取り方式
無負荷時と負荷時とでは、荷重の変化で、ドラムに巻き取られるベルトの締め具合が異なります。自動化された生産ライン等、一定時間作動設定（タイマー）でご使用される場合には、巻き上げ距離が変わりますのでご注意ください。

点検および調整方法

(1)ベルトの点検および交換方法

全長に渡り、ベルトに毛羽立ち、ささくれ、折り曲げ傷、切り傷、変色がないか、使用開始前に必ず点検を行ってください。

ベルトに毛羽立ち、ささくれ、折り曲げ傷、切り傷、変色が1ヶ所でもあれば、新品のベルトと交換してください。

ベルトの交換方法

- ①両側のカバーを取りはずしてください。
 - ②ベルトを巻き下げ方向に引っ張りながら過巻き下げリミットスイッチが働くまでベルトを巻き下げてください。
リミットスイッチが働くとカム軸を矢印方向に少し引き、ベルトを巻き下げ方向に引っ張りながら巻き下げボタンを押してください。その時、図1の様にベルトの末端がカム軸と反対側に来る様に止めてください。
 - ③電源を切ってください。
 - ④ベルト末端の六角穴付きボタンボルト4本をはずし、ベルトを取りはずしてください。
ベルト末端は、熱処理加工をしてありますのでベルト厚みより幾分厚くなっております。そのため、ベルトガイド部にベルトをはずしたり、通したりする時に図2の様に六角穴付きボタンボルトを少しゆるめておくと楽にベルトを通したりできます。
- 注意:ベルトガイド(B)を取りはずして行う時は、スペーサーを落とさない様にしてください。また、組み立てにおいては必ずスペーサーを入れて組み立ててください。
- ⑤新しいベルトをベルトガイドに通し、図1の様にドラムにベルトを巻き、ベルト押えでベルトを押え、六角穴付きボタンボルト4本でしっかりと止めてください。
 - ⑥ベルトガイド(B)を六角穴付きボルトで締め付けてください。
スペーサーの入れ忘れはないかチェックしてください。
 - ⑦電源を入れてください。
 - ⑧巻き上げを行い、ドラムへの巻き取りをスムーズに行っているかを確認してください。
 - ⑨カバーを取り付けてください。
 - ⑩下フックブロックの固定方法は、(2)ベルトの下フックブロック部点検および固定方法の項を参照してください。

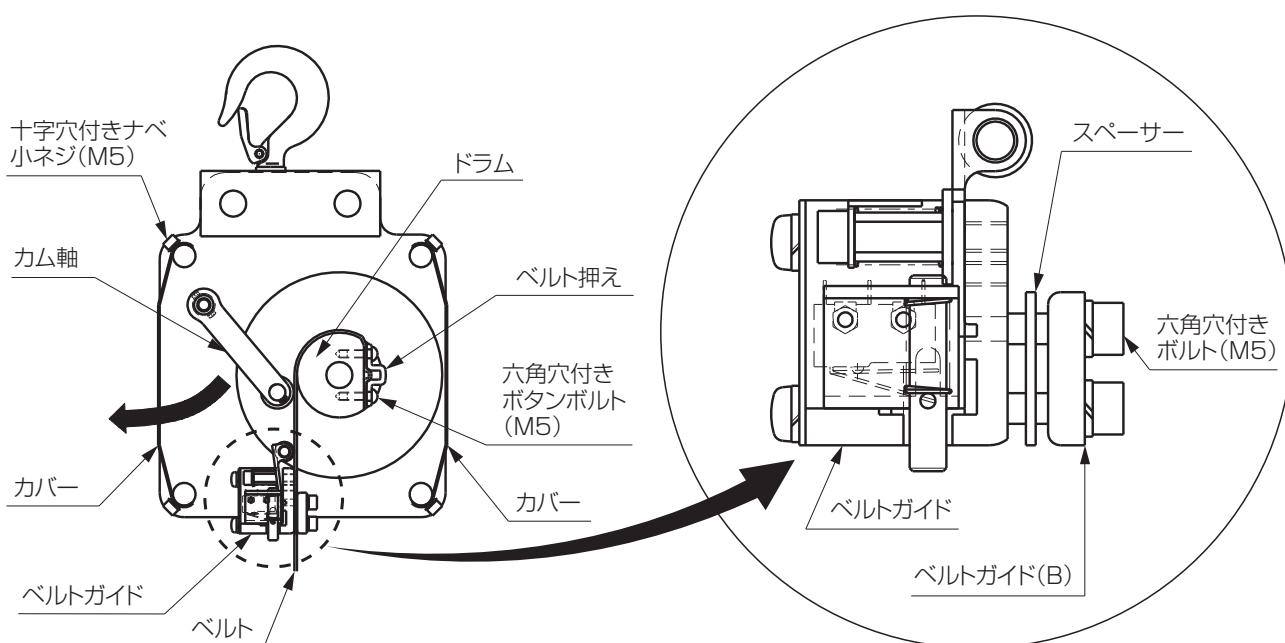


図1(本体断面)

図2(ベルトガイド詳細)

(2)ベルトの下フックブロック部 点検および固定方法

ベルトの下フックブロック部において、図3に示すA寸法が10mm以下になっていないか、また、ボルトナットの脱落の有無とゆるみの無いことを使用開始前に必ず日常点検でご確認ください。

異常がある時は、下フックブロックを分解して固定部を確認してください。

そのまま使用されますとベルトが下フックブロックより抜け、荷の落下につながり大変危険です。

分解後、ベルト末端部分に毛羽立ち、ささくれ、傷、変色等があればその部分を切り取り、再度、図3の様にベルト固定ピン2本をベルトでS字に巻き付け、下フックカバーを取り付け、ボルトおよびナットでしっかりと締め付けてください。

ベルト固定ピンの位置を間違わないようにセットしてください。

ベルトの末端が下フックブロックよりA寸法が15mm出る様にセットしてください。

ベルトの固定を誤ると荷の落下の原因になりますので慎重に行ってください。

必ず図3の様に固定してください。

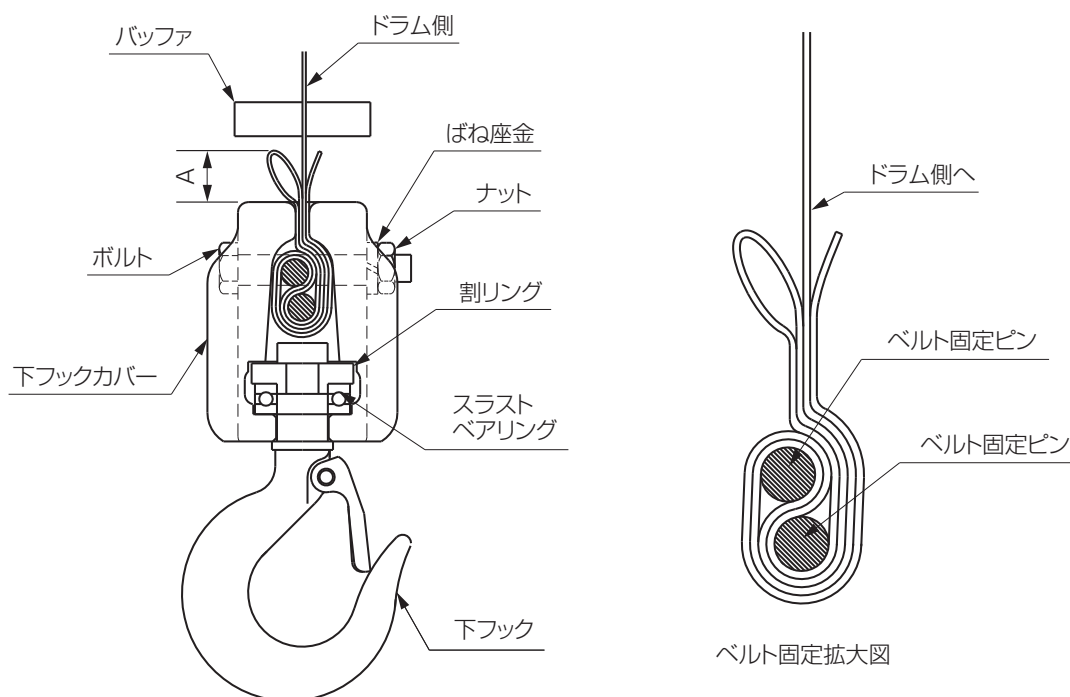


図3

(3)過巻き下げリミットスイッチの点検および調整方法

使用開始前に必ず無負荷の状態でご確認ください。

ベルトを手で下方向に引っ張りながら巻き下げ指令を行い、動作しなくなったところでドラムにベルトが3巻き以上あるかを確認してください。

確認は、ベルトガイドより危険ラインが出ていないかを確認してください。危険ラインが出ていましたらドラムにベルトが2巻き以下になっている状態ですので、リミットスイッチの調整を行ってください。

調整方法 (P4図4参照)

過巻き下げリミットスイッチは、リミットケースをあけるとサイドプレートに取り付けられています。調整ナットを少しゆるめ、調整ネジを時計方向に回すとドラムへのベルト巻き数が増えて止まります。また、反時計方向に回すと巻き数が減って止まります。

調整位置は、ベルトの調整ラインがベルトガイドより少し出た所で過巻き下げのリミットスイッチが働き、巻き下げが停止する様にセットしてください。

この時、反時計方向に回し過ぎるとリミットスイッチが働かず、ベルトがドラムに逆巻き状態になり大変危険な状態になりますので回し過ぎは絶対にしないでください。

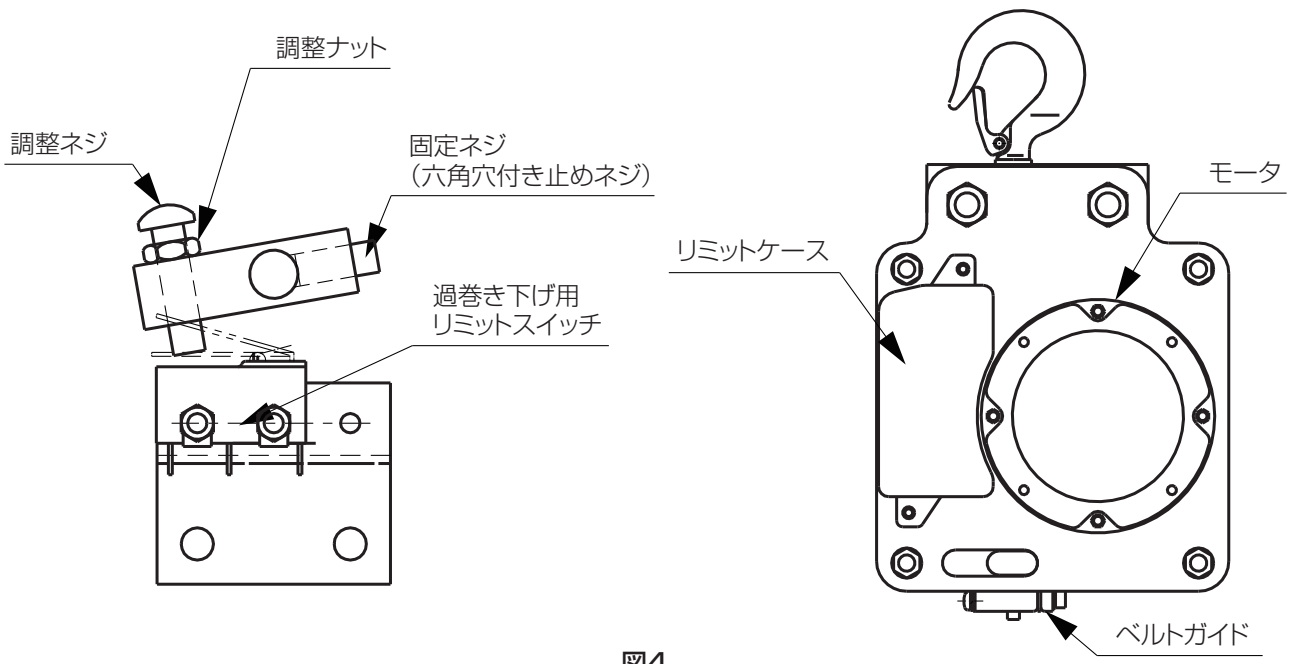
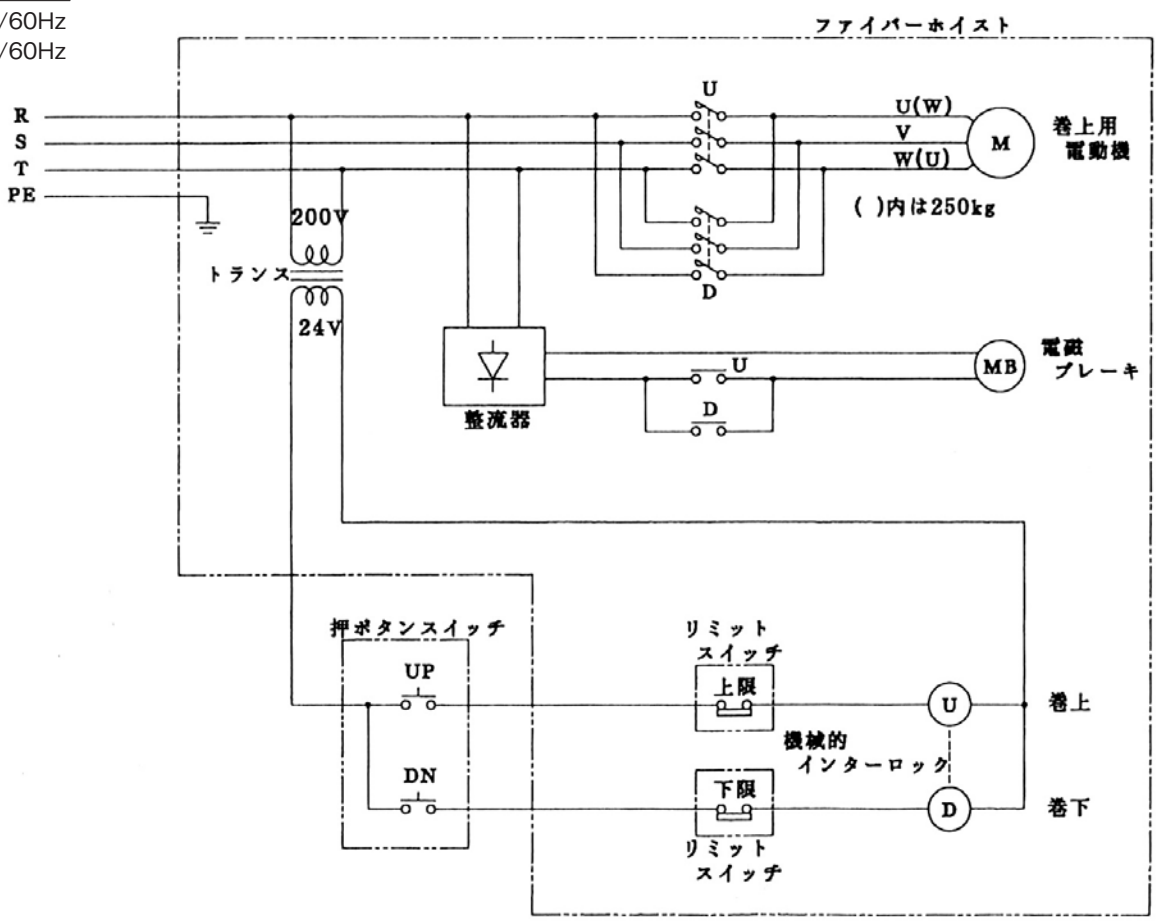


図4

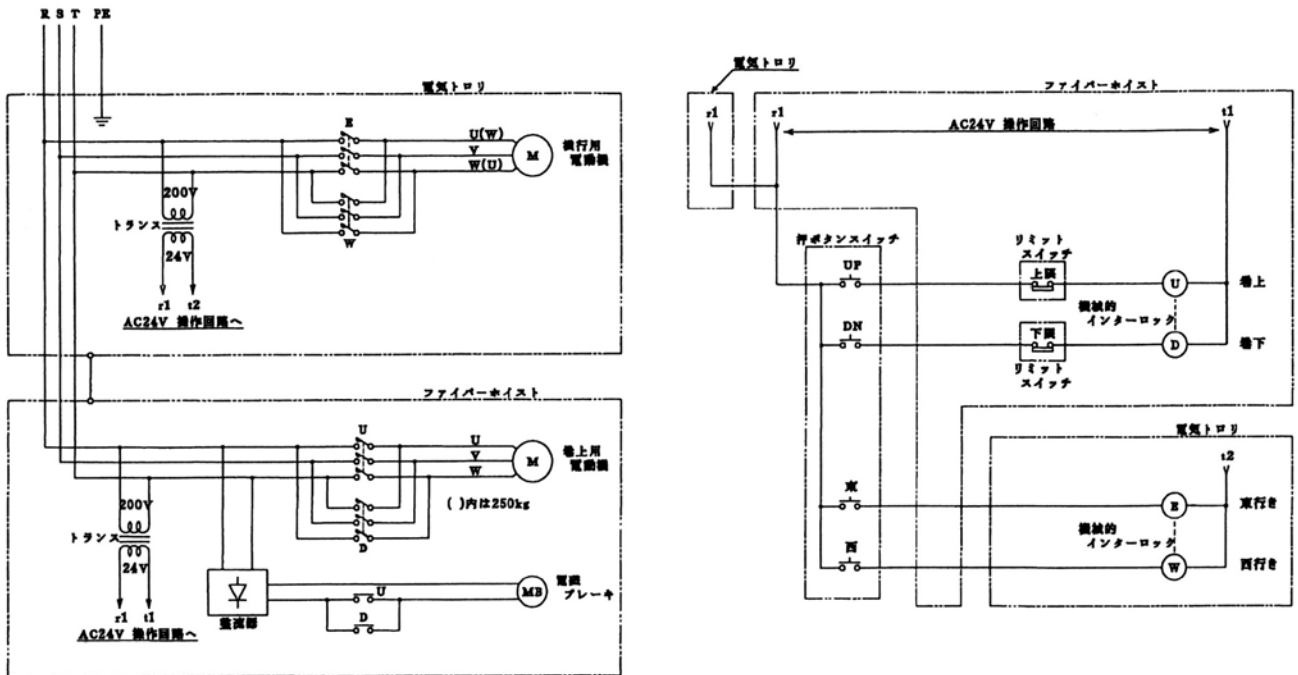
三相ファイバーホイスト配線図(BEC-150、BEC-250)

3φ 電源
 AC200V 50/60Hz
 AC220V 50/60Hz



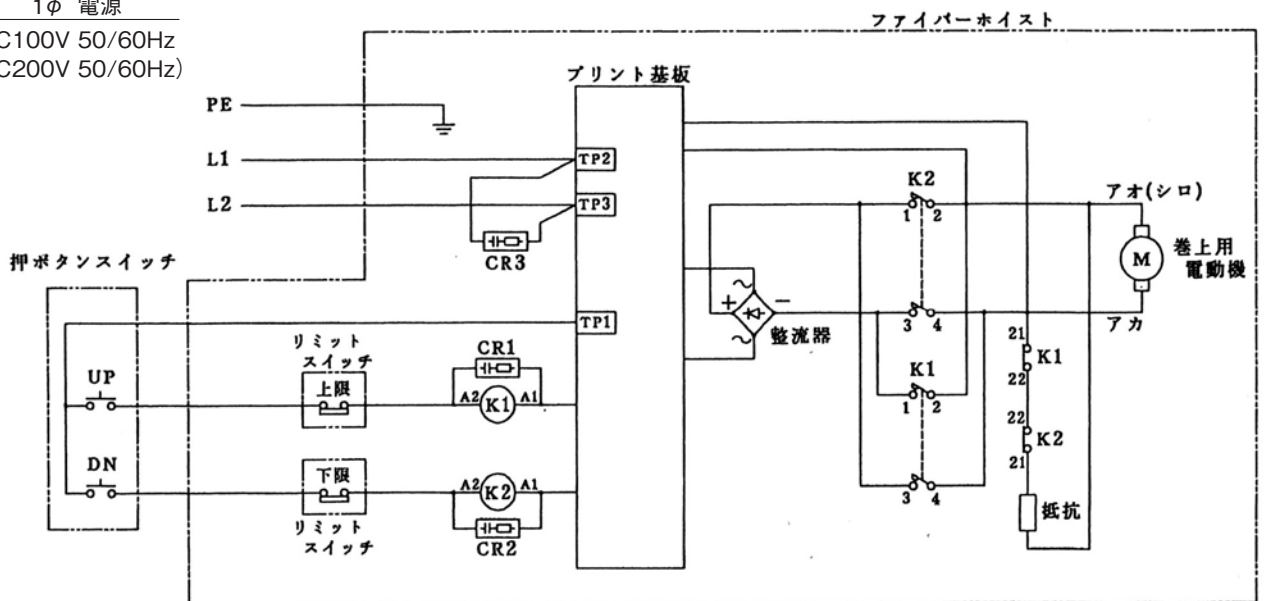
三相電気トロリ式ファイバーホイスト配線図(BECM-150、BECM-250)

3φ 電源
 AC200V 50/60Hz
 AC220V 50/60Hz



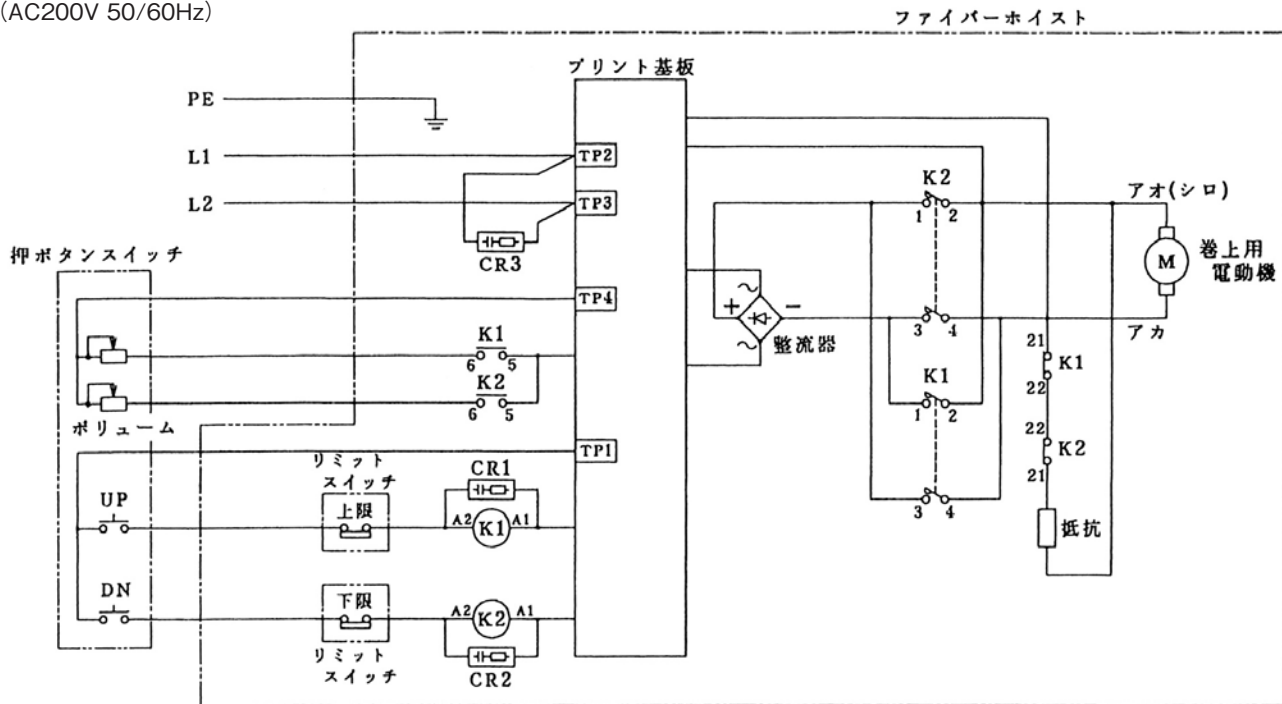
単相ファイバーホイスト配線図(BES-60、BEH-60)

1φ 電源
 AC100V 50/60Hz
 (AC200V 50/60Hz)



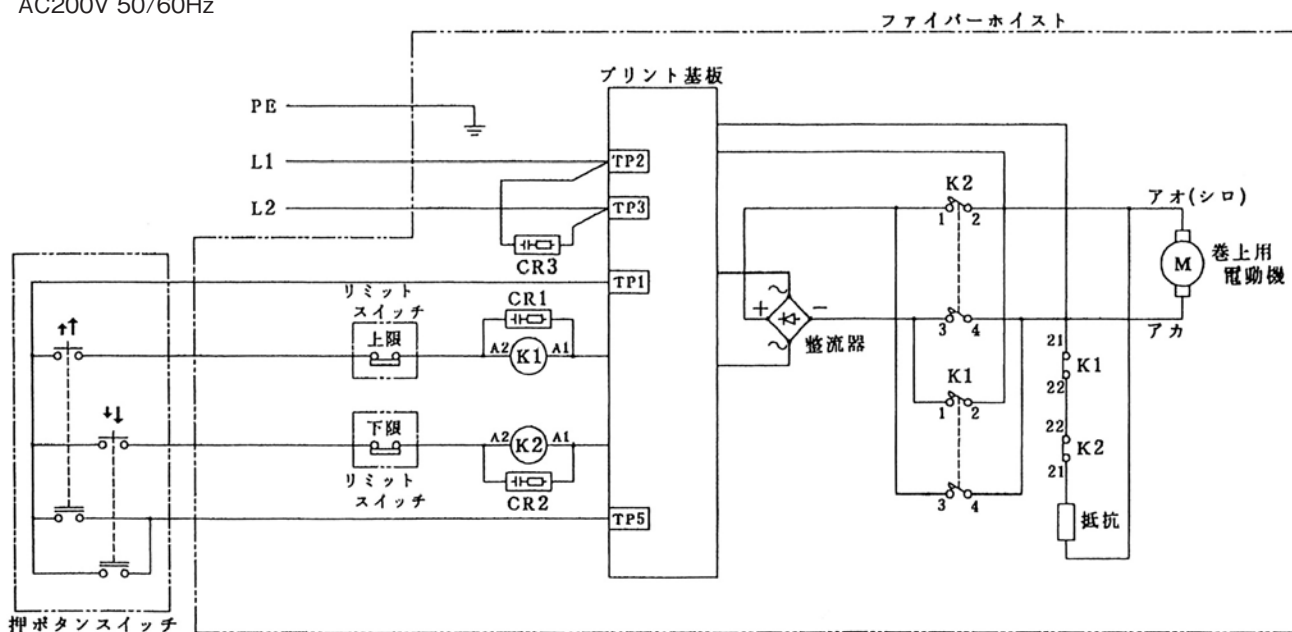
単相ファイバーホイス配線図(BESV-60、BEHV-60)

1φ 電源
 AC100V 50/60Hz
 (AC200V 50/60Hz)



単相ファイバーホイス配線図(BESB-60、BEHB-60)

1φ 電源
 AC100V 50/60Hz
 AC200V 50/60Hz





本社・営業部 〒589-8502 大阪狭山市岩室2丁目180番地 ☎(072)365-7771
札幌営業所 〒003-0029 札幌市白石区平和通3丁目北2番18号 サンシャイン502号室 ☎(011)558-3001
仙台営業所 〒983-0044 仙台市宮城野区宮千代3丁目8番26号 ☎(022)284-5610
北関東営業所 〒360-0021 埼玉県熊谷市平戸1982-2 ☎(048)527-3086
東京営業所 〒135-0004 東京都江東区森下5丁目5番10号 ☎(03)3633-0176
名古屋営業所 〒462-0051 名古屋市北区中切町字石原820番16号 ☎(052)916-1801
大阪営業所 〒589-8502 大阪狭山市岩室2丁目180番地 ☎(072)365-7771
広島営業所 〒733-0012 広島市西区中広町1丁目5番23-101号 ☎(082)292-6775
福岡営業所 〒816-0973 福岡県大野城市横峰2丁目19番26号 ☎(092)595-8880

URL : <https://www.elephant.co.jp>

●本取扱説明書の内容につきましては、事前の予告なしに変更することがあります。